時事新報

支那朝鮮の外國交際

一概に西洋諸國と稱すれ共その國力の強弱に至りては懸隔の差、霄壤も啻ならざるなり蓋し列國が歐洲の中原に國を建て割據互に雄を爭ふに尙は此等差を免れざるとせば境外數千里を隔て東洋の局面に對すべきその關係も決して一樣なる可らず昔し和蘭葡萄牙の商船が日本支那の近海に航行して貨物交易を行ふ時に際しては東洋に對する西洋の威力い此二國に過ぎたるものあるく就中日本の如きは和蘭と互市貿易の傍らに其學問技藝を傳へ軍學兵制より次第して他の文明の事物に及び遂に我國近代の改進を馴致したるもあり蓋し和蘭は當時その海軍を以て歐洲の列國を屈伏し海洋貿易の全權を有して其の餘勢の斯くまで東洋に及びたるも偶然の結果なるべき爾來物換り星移り十九世紀の今日に至りては和蘭も既に其實力を失ひ強國の間に介居して僅に獨立を保つの有樣なれば其東洋に對する勢力の如きも微々として昔日の比に非ざるあり又列國の中に於ても和蘭あるとは絕を異にし古來絕て東洋の局面に其勢力を伸ばしたるとなく將た今日に至りても僅少なる貿易の利害の外別段に是れと云ふ可き痛痒關係の存せざる國々も尠からず瑞典、諾威、白耳義、瑞西の諸邦卽ち是なり左れば東洋諸國が西洋との國交際を講ずるに當りても歐洲中如何なる國が現今最も東洋に勢力あるやを預め先づ推察して其間に自から緩急輕重の別を立つるは最も必要のことなる可し我輩の所見に於ては東洋の全局に對し商賈上政治上若くは軍略上より最大の利害を有するものは獨り英國にして凡そ東洋に國を立てて英國と故らに其休戚を異にせんとするが如きい最も不利益の政策と稱せざるを得ざるなり之に次て佛蘭西日耳曼の諸國ありと雖も是等は寧ろ歐洲中の强國として交際す可きのみ今日東洋國が敢て英國を排して國交際の上に佛日の二國を首座にせんとするは最も謂はれなき考よして言葉を替へて云へば東洋國が歐洲列國互ひの挙動形迹を知らん爲には佛蘭西あり日耳曼あり之に交と結ぶと得策なれ共自家庭前、東洋の利害を與にして其交誼を厚うせんには英國と措て外に國なる可らざるあり前者は歐洲列國政略の主點に當るが故に東洋國も亦此邊の考を以て交際を求む可きものにて後者は則ち眼を異にし東洋の全局面、商賈政兵利害關係の最も密接なるものとして特に其交誼を修めざる可らず兩者の區別は東洋政治家の須らく服膺して忘る可ふざる要義と云ふも可あり此を外にして墺地利匈牙利或い伊太利の如きも歐洲に在りては勢威なれに非ざれ共東洋の國交際には其因緣最も淡泊なる者にして之と交を結ぶに敢て違を表するを要せずと雖も利害の關係英國に比して遙に及ばざるは數に於て明白なる可し

雖りと雖ども同玄西洋の邦國中ろの東洋國交際の關係ふ殺て薄り例外に屬すべきものあり一は露西亞にして一は則ち亞米利加なり露國は地理の上ころ歐洲の列國なれ共東洋との關係より論ずれと亞細亞の海岸に港口を開き廣漠たる領土は歐亞の兩大陸に跨りて方今殊に鋭意して東方に開拓の策と行ひ彼のサイベリヤ鐵道の如きも數年を期して浦塩斯德に通ずるの計畫なりとの事あれば商賈上の利害は兎も角も軍略上の關係に於て最も注意す可き國なり其衝に當らざる可らず北米合衆國は之と反して殖產興業に專に平和の手段を專一とし政治軍略兩つあるがら無緣あれども通商貿易の點に於て東洋諸國の爲め最大の良市場にして凡そ世界中これに踰ゆる者あるの可らず加ふるに共國の殷富年々增加して殆んど底止する所なく太平洋一衣帶の水を隔て今後東洋より送るべきの貨物は多々倍々之を受けて已まざらんと

東洋國が之ふ對して義隣れ意を表し日にまさすく其交情と厚ふするは最も肝要の次第ありと云ふべし前記の所說果して是ならば我輩は平生支那百般の政治に不同意あるにも拘はらず獨り其外交政略の緩急を忘れざるの一事ふ關しては之を共國の面目として賞讃せざるを得ざるあり抑も支那政府が西洋諸國に外交官を派遣するの順序を見るに其人數は極めて尠けれども能く事の大體と失せざるもの〻如し常に英國に重きを歸して英京駐在の公使には最も人選を盡し歐洲太陸の中に在りては列國政略の中心たるべき佛蘭西若くは日耳曼にのみ同く公使を駐むれども其他の諸都府には或いこれを置かず或は之を兼任せしむ、其規模甚ざ小にして外交の手段却て視る可きものあり現今支那政府が西洋ふ駐紮せしむるの公使にして英國に在る者は劉瑞芬氏にして佛蘭西を兼務し許氏近頃本國ふ召還せられ銜洪鈞氏ふれに代るべき命ありと雖も許氏未ざ歐洲を發せず又米國に在るの同國公使い張樵野氏にして白露西班牙の二國を兼務する者あり支那の大國にして西洋諸國に僅々數名の公使を置くとは規模甚だ小なるが如くあるも其既に英露兩國の交を疎遠にせずして東洋に利害關係の直接ある其挙動を察するを忘れず將た佛日の二國にも修信して歐洲政略の因て以て動く所以と推測を更に米國へも公使を駐めて國交際の用に兼て商賈貿易の事を注意せしむ是れより以外、他の諸小列國に更に公使を置くと置かざるとは本國政府の適宜に任せ徒に之を權て外觀を張るも由て以て直に利する所あきに於ては寧ろ之を置かざるの優れるふ若かざる可し支那政府の外交政略果して此邊に在るものとすれば我輩と四洋各國の都府に支那公使館の少なきを見て敢て奇怪と爲さざるあり蓋し外交の規模を大にすると小ふもると孰をが國に利益ある可きやと云はば之を大にするに在ると論を俟たずと雖も其大小の疑問は國交際利害關係の厚薄輕重に依て自から定まる所もなくる可ふず東洋國現在の地位を以て支那政府が故さらに其外交の規模を夸大にせざるも國權に妨害なしとすれと我輩と決して其小公使を派遣するの議に決し沈相學氏は英佛日伊の四國に駐在ま朴定陽氏は米國に赴任とれことあれば歐洲と米國とに各公使一人を送るの決定ならん支那政府外交の規模に比して尙更に小ある者あれども朝鮮今日の外國交際は先づ此れを以て足れりと爲さざる可らず徒に外形を張り粉飾塗抹の政略と施すも國の利害に於て差して大切あらずとすれば之を相應の度に止むると却て得策なる可きあり

雜報

○蓄電瓶の試驗　野戰軍用電信隊に於て戰時最も困難を感ずるものは蓄電瓶あるよし豫て聞及しが右は歐洲の各軍國ふ於ても種々工風を凝らし或い玻璃瓶或は素燒の陶器など用ひ今日普通に用ひる所のものは大抵素燒あれども陶器は破損し易く十軍萬馬の中ふ携帶奔走するい至極面倒なる場合ありとて義に陳軍工兵大尉諏訪親氏い竹筒を以て之れを製し表裏に漆を塗りて蓄電力の如何を試みしに頗る好結果を得たれば之を會議に提出してその審査を請ひしに賛成者甚ざ多く殊に漆は隔電力よく竹は東洋特有の天產物にて之れを得るに且容易なる等にて西洋人中手を拍て之れを稱賛しふる者さへありしが此頃工兵會議に於ては右竹製の蓄電瓶と始め木製に絹と張り漆をかけたるもの及び玻璃製、陶器製等を比較對照して其重量運搬の便否蓄電力の多少長短等ふ〻〻試驗せしに蓄電力れ一番よろしきは矢張玻璃製あれども重量又い運搬れ便否等は竹製のもの最もよろしき由左れば軍師の藏瓶入の如き提籠を製し玻璃を入れて破損の患ひなく運送に自由ある樣にさへ爲せば玻璃に若くもなしと目下彼是その取捨に就て考案中なりといへり

○報知機　海軍省にては今度報知機(甲鐵)一般れ新造を平野造船所へ注文することに決したりと云ふ

○生徒の增加　芝三田の慶應義塾丹に幼稚舍にては築中休暇後去る十二日より授業を始めたりしふ其後僅々十日の間新に入校せる學生は本塾に八十七八名幼稚舍に四十五六名合計百三十餘名に及び新校舍の外畫教場をも用ひて目下擬業ふ居る由ふるが新教場は下地高臺の上に二層樓の巍然として聳え東京の入海厚總の諸山を目下に見下す事ふれば畫教場にて授業上に不都合とてはなけれと科業と授ける人も授かる人も何だう氣持惡き心地もするよしにて目下平屋疊棟の建築を取急ぎ居りと又前にも記せる如く學校にて遠山近海の勝景に富めるは府下は更あり全國中ふて神戸の開館學校等を除兒斯る眺望好き校舍は少あるべしといふ

○露國れ女子教育　昨千八百八十六年中露國の各大學校にて修學せる女子の總數は七百七十九人にして內哲學に關する學科を修むるもの二百四十三人各種の數學を修むるもの五百三十六人あるが之を宗教上より區別する時は希臘教會に屬するもの五百七十八人猶太教百卅九人にして未婚者七百四十八人、既婚者卅一人あり又此總數の內四百三十七人は貴族及び官吏の令孃にして八十九人は僧侶、百二十五人は商人、百十七人は新人士、十八人は農家、四人は兵士、二人は外國人の息女なり斯く多數の就學者あるは女子が教育を受くるに熱心なるの致す所勿論にして先頃同國ウアルソー府に一れ高等女學校を設立するの企てあるふ際し同府の某令孃は一個人ふて一万五千ルーブル(金貨八千四百圓餘)を寄附ふたりと云ふ

○九州鐵道工事の困難　先頃より鐵道敷設の許可を得たるものの賠分數あるふとなる〻多くは東京神戸などの鐵工所機械場と利用するの便あれども九州にい斯る製造所とては僅ふに西の端ある長崎ふあるのみふて少しばかりの物ふても同地まで持行て製造せざると得ざるの不便利あるを以て九州鐵道會社に於て愈々敷設に取り掛る時は新に鐵工所を門司に設け都合に依りては熊本にも今一箇所を設けて一切の事皆な己れの手にて爲さゝるを得ざるの困難あるよしあり因ふ記す門司は高橋新吉氏い來る二十八日頃九州へ出發する由ふるが門地着の上い既測の線路を巡視し其沿道人口れ多少產物の多寡及乘客の事に付ら更に詳細ある調査を爲したる上直に上京そるとのことあり

○布哇蕃住民れ積立金　一昨明治十八年以來布哇群嶋へ日本より移住せる三百三十八名にて布哇政府へ預け置合のまとめるあり之れを得るに「廉」をあさんとの計畫

○大坂紡績會社　為付けて紡績し來する能はざるを以ふ〻〻取寄する等なりしに付に從ての工事費煉化石にて四層樓五間巾二十五間高いふ

○美濃茶　越前敦賀々へ鐵道の連なり四日市ふ出る杯市の本紙上四日市通て美濃茶の販路を陸路製にて其へ送る是きも惡きも幾分を混ぜ愛に伊り捌くの手等なり より四日市其他各共製造と禁ずるに勢濃茶の販賣順ふ困難を極め居たる送るの面倒なく自港へ輸出するの路と受けたりといふ

○馬車會社先づ難會議員泉由次郎氏伊三郎及外數名の十四番地に大坂馬は東京馬車鐵道會馬車鐵道を敷設では先づ其手始め資本金と一萬圓と貸し渡す積りの葬式には成るべく人民も其檀那寺する僧侶あり其上侶は之れを築圖之れを鳶に乘せ柩が故に其隨伴人の都合ある葬式儀式馬車ふ乘らしむる

○動解不調　彼の同銀行畫株主に對所に於て此程審理

○編岡縣近況　此も人に付該地近況す同郡にては今春が炭賣基だ佳良の由なるが近頃又其樣の品質にて炭屬價法、操業の事業

絨類低價販賣廣告
各種羅紗フランネル其本日ヨリ格別低價ニ販賣ス
東京京橋區桶屋町二丁目七番地
明治廿年九月廿五日　千住製絨所販賣所

當院前住佐伯妙用
難有一々拜趨御禮可申述ノ處混雜ノ際尊名伺漏ノ御方モ可有之存參間乍略儀紙上ヲ以テ御禮申上候
横濱元町增德院住職　送葬ノ節ハ遠路ノ處御會葬被下

ようりがか
電信電話